

会員会社紹介

パナソニック株式会社

イノベーション戦略室
 政策企画部 標準化戦略推進課
 大浦 正登



パナソニックは1918年の創業以来、常に「人」を中心に置き、その「暮らし」をみつめ、事業を通じて世界中の皆様の「暮らし」の向上と社会の発展に貢献するためにあらゆる活動を行ってきました。そして今、私たちが目指すのは、お客様にとっての「良いくらし」をあらゆる空間に広げていくことです。

現在、世界では経済発展が進む中、気候変動、エネルギー、食料、少子高齢化、貧富の格差といった社会的課題への対策が求められています。

これらの課題を解決するために、IoT、ロボット、人工知能、ビッグデータといった新たな技術を活用し、企業・業界・国を超えて様々に繋がることで、多様なソリューションを生み出していく必要があります。

パナソニックは、家電事業で培った「お客様に寄り添う」というDNAを継承しながら、さまざまなビジネスパートナーとともに、家の中からオフィス・店舗・自動車・航空機・さらに街まで、お客様への「お役立ち

を多様な空間・領域へと広げ、これまでにない新たな価値を生み出し、お客様一人ひとりにとっての「より良いくらし」と「より良い世界」の実現を目指していきます。

またこれら社会課題を解決するためには、標準化が重要な役割を担うと考えています。従来の部材や製品の個々の機能や性能の標準化だけではなく、あらゆるものが繋がり、価値を生み出すために、空間やシステム全体の観点での標準（ルール）作りに力を入れています。そうすることで、社会課題解決に貢献するエコシステムの形成や、製品・サービスの市場への普及を促進するとともに、住宅や都市などのシステムの互換性を確保し、エコシステムに参画するプレーヤーを増やして、お客様に新しい価値を訴求していきます。

そのために、今後とも関連するTTC専門委員会に積極的に参画し、標準化を活用した市場拡大に貢献していきたいと考えています。

「暮らし」の領域で、ソリューション型ビジネスモデルによる「新たな価値」を提供

